

会員だより

(今回は、平成27年11月27日開催の理事会において、役員の方々から近況報告をしていただきましたテーマについて、函館市、東京都、川崎市、横浜市からご寄稿していただきました。なお、この会員だよりはホームページにも掲載しております。)

函館市企業局交通部

北海道新幹線用車両（H5系）を模したデザインの市電を運行

函館市では、平成28(2016)年3月26日に開業することが決まった北海道新幹線の気運醸成を図るため、路面電車車体全面に北海道新幹線（H5系）を模したラッピングを施し、車内にも開業を告知するポスターを掲示して運行しております。

北海道新幹線のデザインは、北海道への旅の序章として、その先の旅への期待を広げていただきたいという想いを込め「Prologue of the North Experience」をキーワードとし、ボディ上部は、東北新幹線と共通したイメージを保つため、E5系と同じ「常盤（ときわ）グリーン」を採用し、中央の帯には、ライラック・ルピナス・ラベンダーを想起させる「彩香（さいか）パープル」のラインを配置。ボディ下部は、気品ある白色の「飛雲（ひうん）ホワイト」を採用しております。



(写真) 市電 9602号 らっくる号

当車両も同様のカラーを施しており、窓ガラス部分も常盤グリーンのシースルーシートで覆い、新幹線と同サイズの窓枠分をくり抜くといった趣向まで凝らしております。

運行時間の問い合わせが多く寄せられており、子供だけでなく観光客にも大変人気を博しております。

「五稜郭公園前」電停のリニューアルについて

函館市中心市街地活性化施策の1つとして実施しておりました市電「五稜郭公園前」電停の改築工事が終了し、11月16日始発便より供用開始となりました。



特徴としては、中心市街地トータルデザインに基づく外観となっており、本年度のグッドデザイン賞を受賞した「函館駅前」電停と同じく、海風を受ける船の帆や海の波をイメージしたデザインを採用しております。

その他には、有効幅員を1.5mに拡幅し、手摺り、腰掛け、スロープを設置するなどバリアフリー基準に対応し、大型案内掲示板の

設置や照明灯のLED化、さらにはロードヒーティング設置などが挙げられます。

「函館駅前」電停と同様、デザイン性が高く、利用しやすい電停に整備されましたので、来函の際には是非、ご利用ください。

